

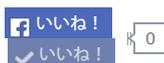
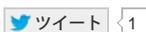


BLOG

BRIDGESTONE MUSEUM OF ART'S



2014.7.18 展覧会



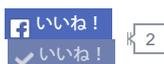
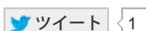
▶テーマ展示「描かれたチャイナドレス」は7月21日までです！

現在 [ブリヂストン美術館](#) ではテーマ展示「描かれたチャイナドレス—藤島武二から梅原龍三郎まで」を開催しています。

1910年代から40年代にかけて日本人洋画家が描いた中国服の女性像約30点と同時代のチャイナドレスをご紹介する展覧会で、全国各地の美術館や個人の方から借用してきた作品をご覧いただけます。



「描かれたチャイナドレス」展は7月21日までです。どうぞお見逃しなく。
(K.K)

2014.7.15 [パブリックプログラム](#) 展覧会

▶土曜講座「異国趣味とオリエンタリズム」の第5回目を開催しました。

テーマ展示「描かれたチャイナドレス」にあわせて開講される土曜講座「異国趣味とオリエンタリズム」の最終回、第5回目が行われました。講師は、稲賀繁美氏(国際日本文化研究センター教授)、演題は「『植民地絵画』の完成: 偽『満州国』オリエンタリズム考」。

最新エントリー

2014.7.18

▶テーマ展示「描かれたチャイナドレス」は7月21日までです！

2014.7.15

▶土曜講座「異国趣味とオリエンタリズム」の第5回目を開催しました。

2014.7.13

▶7月14日の月曜日は開館します！

2014.7.11

▶テーマ展示「描かれたチャイナドレス」に出品されている正宗得三郎作品

2014.7. 8

▶土曜講座「異国趣味とオリエンタリズム」の第4回目を開催しました。

2014.7. 5

▶NHK「日曜美術館」で関根正二《子供》が紹介されます。

2014.7. 3

▶テーマ展示「描かれたチャイナドレス」に出品されている恩地孝四郎作品

2014.7. 1

▶土曜講座「異国趣味とオリエンタリズム」の第3回目を開催しました。

2014.6.27

▶「デ・クーニング展」の開催まであと3ヶ月

2014.6.25

▶土曜講座「異国趣味とオリエンタリズム」の第2回目を開催しました。

カテゴリー

▶お知らせ (92)

▶パブリックプログラム (171)

▶ミュージアムショップ (42)

▶展覧会 (426)

アーカイブ

2014年

二覧

7月

6月

5月

4月

3月

2月

1月

2013年

二覧

12月

11月

10月

9月

8月



7月	6月	5月	4月	3月	2月
2012年					一覧
1月	12月	11月	10月	9月	8月
7月	6月	5月	4月	3月	2月
2011年					一覧
1月	12月	11月	10月	9月	8月
7月	6月	5月	4月		

5回シリーズの掉尾を飾るにふさわしいお話でした。前4回をすべてお聞きになっていたかのように各講師の論点に触れつつ、西洋のオリエンタリズムからジャポニズム、プリミティヴィズムへの流れが日本において、「植民地絵画」とも呼ぶことのできるものに集約されていくさまを、具体的な作品によっていねいにたどられました。「植民地絵画」とはもとフランス語の用語からきたもの。藤島武二、児島虎次郎、安井曾太郎、梅原龍三郎、藤田嗣治、朝井閑右衛門などの、テーマ展示「描かれたチャイナドレス」に出品されている洋画家たちの作品のほか、竹内栖鳳、前田青邨、川端龍子らの日本画家たちの作品、さらに陳進、楊三郎らの台湾人画家たちの作品までが取り上げられました。20世紀前半の日本と東アジアをめぐる政治と社会の複雑な関係を背景に、日本のオリエンタリズム絵画が植民地絵画へ変容していく過程は、絵画史を超えて人間の歴史を見届けるかのような密度がありました。



土曜講座は、しばらく夏休みとなります。次回は、10月。地中海学会との共催シリーズで再開します。

(T.K)

2014.7.13 展覧会

ツイート 2

いいね! 0
いいね!

▶7月14日の月曜日は開館します！

テーマ展示「描かれたチャイナドレス—藤島武二から梅原龍三郎まで。」の会期も残りわずかとなりました。

7月中は、「描かれたチャイナドレス」展会期末の7月21日まで無休で開館いたします。